

辰野町国民健康保険運営協議会議事録

日 時	平成27年2月24日(火) 午後1時30分～午後3時
場 所	辰野町役場 第7・8会議室
出 席 者	野竹泰也・瀧川和恵子・金子文武・吉田まゆみ 各1号委員 古村慎二・有賀功 各2号委員 三堀善業・矢ヶ崎紀男・臼田和広 各3号委員 有賀克明 4号委員 町長 事務局 向山住民税務課長・赤羽課長補佐兼国保医療係長・入原保健指導係長・井出保健師・樋口係員・松澤係員

1. 開会のことば	向山住民税務課長より開会のことば
2. 会長あいさつ	先日、国保運営協議会会長会議に出席。2025年を見据えた医療改革が行われるようである。国保保険者都道府県化に向けた会議も進んでいるようだが、保険者が都道府県となり心配せず良くなるのは支払いについて。その他に保健指導、税金の徴収などは引き続き市町村で行っていかねばならない。今後県が、平成30年までにどのような医療提供が出来るのか計画を立てていくようである。
3. 町長あいさつ	澤底での福寿草祭りも行われており春めいてきた。本日、予算発表をさせていただく。一般会計の中で税収入が減収予定である。人口減少も大きな要因として考えている。国民健康保険税についてもあちこちで税金の値上げが見受けられる。辰野町では平成25年度に税率改正を行ったが、見込んでいた収納額に至らず伸び悩んだ。これより平成26年度決算見込み、平成27年度予算について事務局より報告がありご審議いただくこととなる。国保税収納も大切だが、今後は予防にも更に力を入れて健康寿命、医療費の抑制に努力していきたい。
4. 議事録署名人の指名	今回は、古村慎二委員と三堀善業委員に議事録の内容の確認をお願いします。
5. 議事 (1)平成26年度決算見込みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計 赤羽補佐より別紙資料により説明 ・国民健康保険診療所特別会計(第一診療所、川島診療所) 赤羽補佐より別紙資料により説明 <p>第一診療所の翌年度繰越金が約120万円、川島診療所の翌年度繰越金が約70万円合わせて200万円程度。国保会計より診療所への繰越金200万円を入れ、平成26年度の決算を行いたいのでご審議願いたい。</p> <p>議長より質疑が受け付けられる 矢ヶ崎委員：高額になるのはどの病名が多いのか。 赤羽 補佐：心臓や脳の病気など。 矢ヶ崎委員：そのような病気で手術になる方は健診を受けているのか。</p>

	<p>井出保健師：高額であがってくるレセプトの病名等は確認していますが、その方が健診を受けているかどうかは現在確認中です。</p> <p>赤羽 補佐：特定健診を受けていれば早期発見できる病気もある。</p> <p>金子 委員：医療費に消費税の影響は無いのか。</p> <p>古村 委員：現在の見解では、医療費には消費という概念が無いため消費税は含まれていない。</p> <p>金子 委員：薬価も同じか。</p> <p>古村 委員：同じです。</p> <p>金子 委員：保険証と同封されてくるパンフレットだが、被保険者の方はそこまで見ないのではないか。辰野町における医療費の現状を簡単に示したものを1枚入れるほうが、皆さんも興味を示してくれるのではないか。</p> <p>赤羽 補佐：良い意見をありがとうございます。是非、実施していきたい。広報などにも随時辰野町の医療費の現状をお知らせしていきたい。</p> <p>会 長：国保税の徴収率も平成30年度からの保険者都道府県化にも影響してくる様なので、引き続き努力していただきたい。</p> <p>会 長：診療所への200万円繰り入れの承認をいただきたい。</p> <p>全 員：異議なし。</p> <p>会 長：診療所への200万円繰り入れは承認されました。</p>
(2)平成27年度予算について	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計 赤羽補佐より別紙資料により説明 ・国民健康保険診療所特別会計（第一診療所、川島診療所） 赤羽補佐より別紙資料により説明 <p>議長より質疑が受け付けられる。</p> <p>有賀 委員：保健事業費の科目名を教えてください。</p> <p>赤羽 補佐：5048 特定健診事業費：特定健診に係る委託料、消耗品等全て。 5021 保健衛生普及費：ジェネリック医薬品、医療費通知等。 5022 疾病予防費：国保加入者のがん検診、健康教室等、来年度は乳がん検診の補助金を増やしてあります。</p> <p>会 長：診療所の継続についてどうか。</p> <p>赤羽 補佐：各地区で行っている説明会の際に、平成27年度開催時には住民の方へ診療所についてのご意見をお伺いしたいと考えています。現段階ですぐに診療所を閉鎖するのではなく、地域住民の方が現在診療所についてどう思っているのかお聞きするところから始めます。</p> <p>矢ヶ崎委員：川島診療所の往診患者は何人か。</p> <p>赤羽 補佐：3～4人程。</p> <p>金子 委員：出産育児一時金の予算で、端数が出ているが単価はいくらか。</p>

	<p>赤羽 補佐：出産育児一時金は42万円。連合会へ支払う手数料分1件210円が含まれているので端数が出ます。</p> <p>金子 委員：子育て支援という考えで金額を増やすようなお考えはあるか。</p> <p>町 長：金額を何万円増やすよりは、子育て環境を良くする事業へ使っていくべきと考えているが、それも選択肢の1つだとは思っている。</p> <p>向山 課長：子育て世帯の多くは社会保険等へ加入されているので、これは国保加入者へ対しての出産育児一時金。出産世帯へ支払うとすれば、国保でないところでの施策を考えていかなければならない。</p> <p>会 長：基金はどうか。</p> <p>赤羽 補佐：平成26年度決算で1,300万円程積み立てをし、現在は約5,928万円です。今年度決算では基金を使わずにいけるのではないかと見込んでおります。</p> <p>向山 課長：県からの交付金6,000万円を削られた中で、予算編成にはとても苦労した部分があります。歳出をできるだけ抑え、予備費も無いような予算となっています。万が一、医療費が予算より伸び、尚且つ歳入が見合うだけ増えず収支のバランスが崩れた場合に、予備費はありませんので基金を取り崩さざるを得ない。平成27年度は国保税率を上げず、当初予算では基金を取り崩さないつもりでのとても苦しい予算編成となります。</p> <p>町 長：病院へかかることが悪いことではなく、重症化する前にかかっていただくということが大切だ。</p>
<p>(3) 特定健康診査 保健指導実施 状況について</p>	<p>井出保健師より別紙資料にて説明</p> <p>平成26年度実施状況の報告です。受診者数は巡回型特定健診が902名、個別健診が357名、人間ドック等は255名の合計1,514名、受診率は35.3%となっています。昨年と比べ巡回型につきましては受診者数が落ちていますが、合計受診者数は50名ほど増えています。個別健診。人間ドック補助金申請は年度末まで行っていますので受診率が伸びることを期待したい。特定保健指導につきまして、積極的支援対象者男性19名、女性2名、動機付け支援対象者男性75名、女性29名の合計104名。初回面接参加状況は積極的支援20名参加し、95.2%、動機付け支援97名参加し、93.3%となっております。</p> <p>今年度の健康教室については、ノルディックウォーキングの教室を2回コースで2回実施、35名参加。高血圧改善・予防教室を4回コースで2回実施、合わせて50名参加していただきました。また、冬場の体を動かす機会として、12月にヨガ教室を開催。大変好評だったため2月にも開催し、合わせて46名の参加がありました。特定保健指導については、今年度9月から運動教室を開催。3ヶ月間月2回の計6回コースで、定員10名で開催。前半コース参加者7名。最高-2.7kg、5名の方が減量しています。今年度開始した教室ですので、内容を今後検討していきます。</p>

	<p>議長より質疑が受け付けられる</p> <p>瀧川 委員：ノルディックウォーキングやヨガは歩ける方が対象かと思われるので、足や膝が痛いという方も参加できる健康教室を是非開催してもらいたい。</p> <p>赤羽 補佐：昨年3ヶ所で開催した説明会の中には膝が痛いなどの悩みの方を対象とした運動を行ったが広報不足で多くの方に参加していただけなかった。内容としてはとても充実していてとても良いものであった。来年度はもっと広報し、多くの方に参加していただけたらと思う。</p> <p>有賀 委員：データヘルス計画と言われているが、辰野町国保ではなにか進められていますか。</p> <p>井出保健師：現在、辰野町の医療費等の状況を分析しているところですので、出来上がり次第ご報告させていただきたいと思います。</p> <p>向山 課長：計画を立てていく為には、現在の状況を把握しなければならない。平成25年度末に国保データベースという国全体の国保の中で出来たが、まだデータが全て蓄積されていないので分析も十分に進められない中、現在分析中なのでご理解いただきたい。</p>
(4)その他	<p>ここで国保運営協議会会員2年の任期が切れることとなります。みなさんにはそれぞれのお立場でご意見いただき、大変ご尽力いただきありがとうございました。</p>
6. 閉会のことば	<p>向山課長より閉会のあいさつがあり閉会</p>